

2023 年度

二チキッズ南さつま保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

| 評価方法 | | |
|----------------|------|--|
| 保育士等（全職員）の自己評価 | 評価期間 | 2024 年 2 月 10 日（土）～2 月 29 日（木） |
| | 実施方法 | 全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。 |
| 保育施設の評価 | 評価日 | 2024年3月9日（土） |
| | 実施方法 | 話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。 |

| 項目ごとの評価 | |
|-------------|---|
| 保育理念 | 「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、より良い成長発達を提供できるよう注力してきた。また、保育者自身が自分の子どもを通わせたいと思える保育園であることを目指し、保護者目線に立ち保育を展開した。 |
| 子どもの発達援助 | 子どもの姿を予想した保育計画を立案し日々保育を行っているが、月齢差、発達段階の個人差、障害の有無を受入れた上で、子どもが意欲的に取り組める楽しい保育内容を提供した。「今を生きる」子どものありのままの姿を受入れ、可能な限り個々の気持ちを受けとめ、寄り添う対応を心がけた。 |
| 保護者に対する支援 | 送迎時の会話や、日々の連絡帳でその日の子どもの様子や、成長した姿を伝えることを意識した。また防ぎきれなかった噛みつきやひっかきについても、事実に基づいた経緯、結果、謝罪を伝え、誠実な信頼関係の構築に努めた。また、子育てに対する不安や困り感を受けとめ、全職員で共有し、関係機関との連携など保護者の子育て支援に努めた。 |
| 保育を支える組織的基盤 | 外部研修や内部研修の充実や定期的な職員面談、職員会議、ミーティングを実施し、スキルアップを図った。今年度、研修等で学んだ内容を保育の中実践として生かし保育の質向上を目指したい。 |

| 総評 |
|--|
| 開園から 3 年が経過し、コロナ規制解除に伴い保護者参加行事も活性化し、運動会や親子遠足も近隣施設を利用させていただき地域とのつながりも大きく広がった 1 年だった。小規模保育園だからこそできるきめの細やかな保育、子どもと保護者が安心できる居場所であることを目指して運営してきた。これからも子どもの安全と尊厳を守ることを全職員が意識し、愛と責任をもって誠実に子どもと向き合う質の高い保育を提供できる保育園を目指していきたい。 |